

あいさつは あふれる笑顔の あいことば

自主貢献

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/nishikidai/>

横浜市立錦台中学校 学校だより

発行日 令和6年2月1日(木)

発行者 学校長 古木 喜雅

所在地 神奈川区西寺尾三丁目10番1号

電話 045-401-3644 FAX 045-431-0244

元旦の震災から学ぶ ～不可欠で大切な尊い行い～

副校長 大字宏史

元旦に能登半島で発生した巨大地震は、その被害の規模、復興の困難さから激甚災害に認定され、今もなお、先行きの見えない不安と、家族・親戚を失った悲しみから現実を受け入れられない方々がたくさんいらっしゃることを思うととても心が痛みます。災害地では、私たち人間にとって、強制できることではないものの、「不可欠で大切な尊い行い」を多くの方々が行っています。テレビのインタビューでは、阪神淡路大震災を経験し、同様に被災された男性の方が「今度は自分たちが支える番」と話していました。阪神淡路大震災は震災から29年、また、関東大震災からは100年の月日が経ちました。情報の入手が簡単な時代ですから、詳しく知りたい、興味のある方は、それぞれの震災がどのようなものであったのか、各自で調べてみてください。

「不可欠で大切な尊い行い」を無償で行っている方がたくさんいらっしゃる一方、とても残念で、怒りに近い感情を抱く内容もたくさん報道されています。倒壊した家屋から金品を盗む、修理業者を装い高額な請求をする、支援を謳い個人情報を不正入手するなどのニュースです。このような犯罪行為に、過去同様な災害で「尊い行い」を知った人は絶対に携わっていない！と強く信じたいと思います。「不可欠で大切な尊い行い」は、どのようにして育まれるのでしょうか。学校・家庭・地域で子供たちを支え、見守る大人にできることは何でしょうか。今回の能登半島で発生した震災のために、錦台中学校では、社会福祉委員会の生徒が中心となり、募金活動を行い、少しでも支援の輪を広めようと活動しています。その活動の様子はまさに、「不可欠で大切な尊い行い」であると思います。どのような関わり方であれ、純であたたかい心をもつ子どもたちに、先人たちからの教え（不可欠で大切な尊い行い）を学校・家庭・地域が協力して継承していくことができたのなら、子どもたちの未来にも多くの希望が残せると自分は思っています。

話が変わりますが、3月12日には、卒業式が挙行されます。小学校への入学から9年。3年生にとって義務教育最後の日を迎えます。きっと、あっという間の9年間だったのではないかと思います。中学校という小さな社会ですが、学校という社会の中で学んだことを大切にしてくださいね。皆さんの心には、「不可欠で大切な尊い行い」を実践する、「目に見えない力」があります。その力を発揮する時は、必ずやってきます。大きな社会の中で、視野を広げながら、できる限り多くの人とともに楽しい人生を切り開いてください。

